

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成23年7月21日(2011.7.21)

【公表番号】特表2010-536857(P2010-536857A)

【公表日】平成22年12月2日(2010.12.2)

【年通号数】公開・登録公報2010-048

【出願番号】特願2010-521912(P2010-521912)

【国際特許分類】

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 P 7/06 (2006.01)

A 6 1 K 47/48 (2006.01)

C 0 7 K 7/08 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 37/02 Z N A

A 6 1 P 7/06

A 6 1 K 47/48

C 0 7 K 7/08

【手続補正書】

【提出日】平成23年6月6日(2011.6.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

肺癌、乳癌又は前立腺癌のための化学療法を現在受けている、過去に受けたことがある又は今後受ける予定である患者において、エリスロポエチンの欠乏又は低赤血球集団若しくは欠陥赤血球集団によって特徴づけられる障害を予防する又は治療するための医薬組成物であって、

(a) アミノ酸配列 (A c G) G L Y A C H M G P I T (1 - n a l) V C Q P L R (配列番号 14) を含む第 1 ペプチドモノマー；

(b) アミノ酸配列 (A c G) G L Y A C H M G P I T (1 - n a l) V C Q P L R (配列番号 14) を含む第 2 ペプチドモノマー；

(c) 第 1 ペプチドモノマーを第 2 ペプチドモノマーに共有結合するリンカー部分；及び

(d) リンカー部分とポリエチレングリコール (P E G) 部分を共有結合によって連結するスペーサー部分であって、前記 P E G 部分が約 10, 000 ダルトン～約 60, 000 ダルトンの分子量を有する直鎖状の非分枝 P E G を含む、スペーサー部分を含む化合物を含有する、医薬組成物。

【請求項 2】

前記第 1 ペプチドモノマーおよび／又は第 2 ペプチドモノマーのアミノ酸配列が C 末端に (M e G)、K 又は (M e G) K を付加的に含む、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 3】

前記第 1 ペプチドモノマーおよび／又は第 2 ペプチドモノマーのアミノ酸配列が (A c G) G L Y A C H M G P I T (1 - n a l) V C Q P L R K (配列番号 1) である、請求項 2 に記載の医薬組成物。

【請求項 4】

前記第 1 ペプチドモノマーおよび／又は第 2 ペプチドモノマーのアミノ酸配列が (A c G) G L Y A C H M G P I T (1-n a l) V C Q P L R (M e G) (配列番号 3) である、請求項 2 に記載の 医薬組成物。

【請求項 5】

前記第 1 ペプチドモノマーおよび／又は第 2 ペプチドモノマーのアミノ酸配列が (A c G) G L Y A C H M G P I T (1-n a l) V C Q P L R (M e G) K (配列番号 2) である、請求項 2 に記載の 医薬組成物。

【請求項 6】

第 1 ペプチドモノマーの 2 個のシステイン残基がジスルフィド架橋を介して共に結合しており、第 2 ペプチドモノマーの 2 個のシステイン残基がジスルフィド架橋を介して共に結合している、請求項 1 に記載の 医薬組成物。

【請求項 7】

リンカー部分がリシン残基のアミド誘導体を含む、請求項 1 に記載の 医薬組成物。

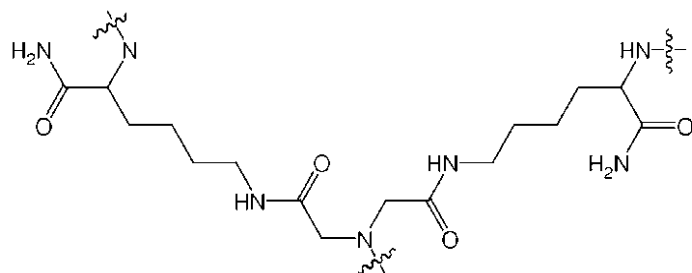
【請求項 8】

リシン残基のアミド誘導体はその側鎖の窒素原子を介して共有結合している、請求項 7 に記載の 医薬組成物。

【請求項 9】

リンカー部分が式：

【化 1】

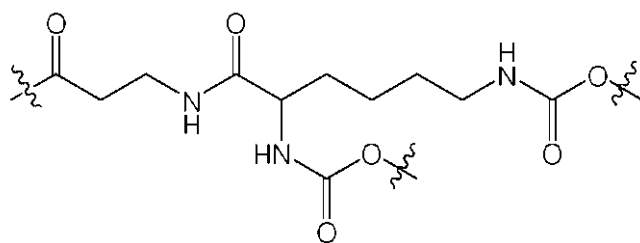


によって定義される、請求項 1 に記載の 医薬組成物。

【請求項 10】

スペーサー部分が式：

【化 2】

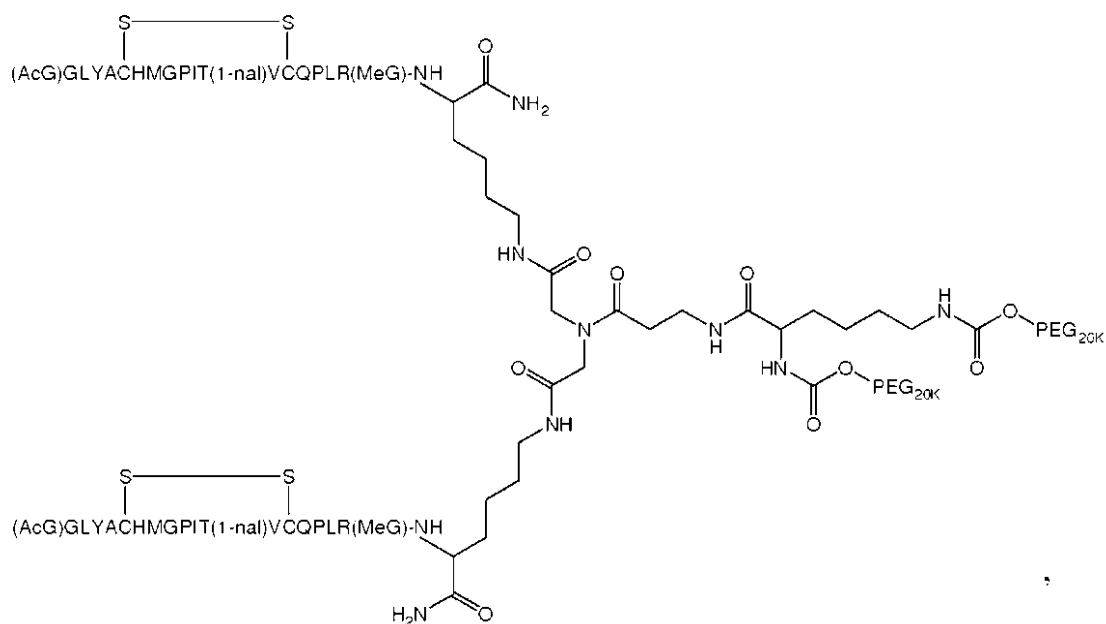


によって定義される、請求項 1 に記載の 医薬組成物。

【請求項 11】

化合物が式：

【化 3】

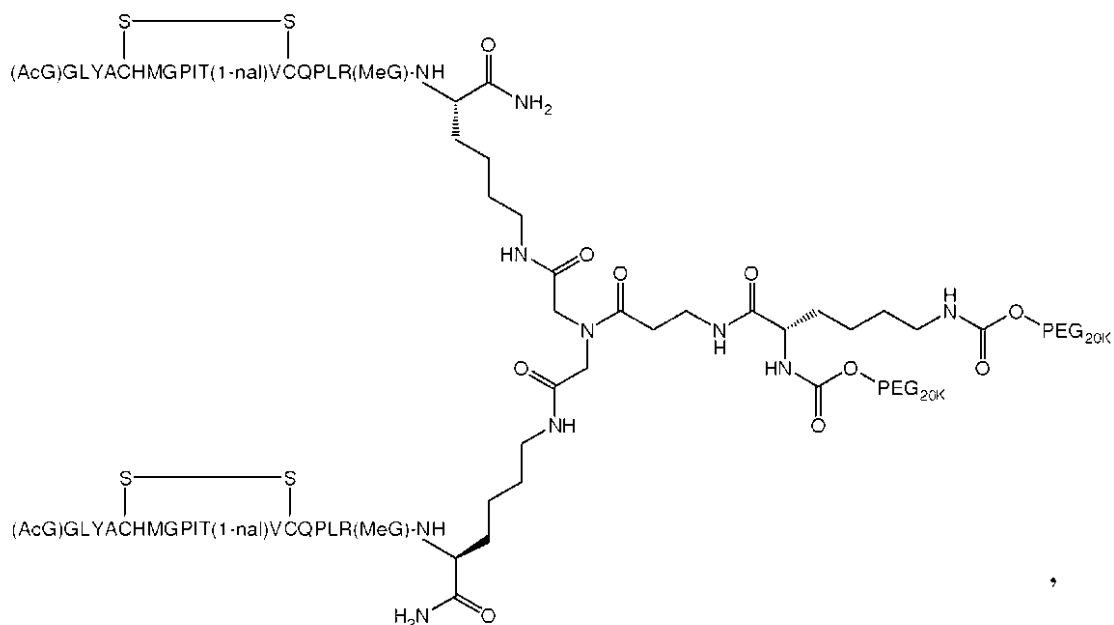


又はその医薬的に許容される塩、水和物、溶媒和物、互変異性体、アセタール、ケタール、プロドラッグ若しくは光学異性体によってさらに定義される、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 1 2】

化合物が、

【化 4】



又はその医薬的に許容される塩としてさらに定義され、それについての他の光学異性体を実質的に含まない、請求項 1 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 1 3】

P E G 部分が約 1 0, 0 0 0 ダルトン～約 5 0, 0 0 0 ダルトンの分子量を有する、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 1 4】

P E G 部分が約 2 0, 0 0 0 ダルトン～約 4 0, 0 0 0 ダルトンの分子量を有する、請求項 1 3 に記載の医薬組成物。

【請求項 15】

障害が貧血である、請求項 1 から 14 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 16】

障害が化学療法起因の貧血である、請求項 15 に記載の医薬組成物。

【請求項 17】

患者が膀胱、血液、骨、脳、乳房、中枢神経系、結腸、子宮内膜、食道、尿生殖路、頭部、喉頭、肝臓、肺、頸部、卵巣、膵臓、前立腺、脾臓、小腸、大腸、胃又は精巣の癌を有する、請求項 1 から 14 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 18】

患者が肺癌のための化学療法を現在受けている、過去に受けたことがある又は今後受ける予定である、請求項 1 から 14 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 19】

肺癌が非小細胞肺癌である、請求項 18 に記載の医薬組成物。

【請求項 20】

患者が前立腺癌のための化学療法を現在受けている、過去に受けたことがある又は今後受ける予定である、請求項 1 から 14 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 21】

患者が乳癌のための化学療法を現在受けている、過去に受けたことがある又は今後受ける予定である、請求項 1 から 14 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】配列表

【補正方法】変更

【補正の内容】

【配列表】

2010536857000001.app